

NSGの テストは ここが 違います。

NSGが所有する豊富なデータをもとに、4科目の総合的な学力を判定し、今後の学習指針を示します。

小学生の子どもたちは時として目覚ましい成長を見せます。大人に比べて知識の保有量が少ない小学生にとって、新たに得られる知識の価値は非常に高く、子どもたち自身の成果を広げていく大きな原動力になります。また、ひとつの理解不足の改善がそれ以外の学習成果にも大きく影響を及ぼしていくこともあります。

NSGの学力判定テストは、単なる知識だけではなく、生徒の思考力、活用力、表現力も含めた総合的な学力を判定するテストとなっています。テストの帳票は得点や順位だけでなく、小学生の子どもたちが目標をたて日頃の学習に役立てられるようなものを用意しております。

特徴

思考力、活用力、表現力を問う問題構成

国語 … 文章や資料を題材にして得た他者の考えや情報をもとに、自分の意見を述べさせるような問題を含む。

算数 … 問題を正確に読み取り、理解し、一般化して考えたり論理的に思考したりして、問題解決に活用するような問題を含む。

理科・社会 … 現象を論理的に捉えたり、関係性を明確にしながものごとの背景を説明するような問題を含む。

評価方法 -1-

得点分布表

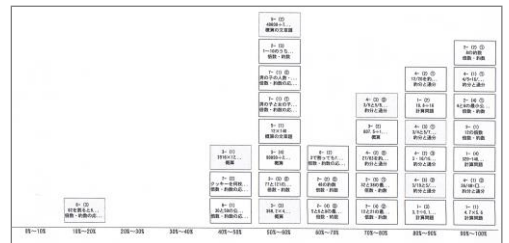
受験した科目の合計得点、各科目の得点分布をグラフで表します。偏差値だけでは把握しにくい、合計得点・各科目の得点者の全体像をイメージしたうえで、自身の位置を把握できます。

2教科 平均 140点		国語 平均 70点	
点数	人数	点数	人数
181~200	3人	91~100	3人
161~180	20人	81~90	20人
141~160	70人	71~80	70人
121~140	100人	61~70	100人
101~120	110人	51~60	110人
81~100		41~50	
61~80	60人	31~40	60人
41~60	15人	21~30	15人
21~40	12人	11~20	12人
0~20	8人	0~10	8人

評価方法 -2-

学習診断グラフ

NSGのテストは、設問一つひとつの正答率を算出しています。その正答率に従ってテスト問題をグラフ化し、やさしい問題と難しい問題がどのように分布したテストであったかを見るようにします。そして子どもたち一人ひとりの正誤状況を照らし合わせることで、理解不足や苦手単元、学習状況の様子を読み取って次の学習に活かします。



希望者には志望校に対する合格可能性を出します。

※公立中高一貫教育学校においては志望内順位だけを出します。



今年の春もたくさんさんの喜びの笑顔が咲きました。

県内3附属中

■新大附属新潟中
(学力合格者48名中)

■新大附属長岡中
(学力合格者120名中)

■上教大附属中
(公立小からの合格者43名中)

合格実績

No.1!

24名

61名

22名

■新潟明訓中
(合格者124名中)

■高志中等
(合格者121名中)

■直江津中等
(合格者82名中)

43名

25名

13名

2021年3月17日現在 (NSG調べ)